



令和6年度 6月議会一般質問

認知症対応施設の現状と課題について

前回の「在宅医療について」に続き、今回は「認知症対応施設の現状と課題について」です。

国の推計では2025年度の認知症高齢者の数は全国で約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人になると見込んでいます。

認知症は誰もがなり得るもので、家族や友人が認知症になるなど、多くの人にとって、身近なものとなっております。

このことは令和6年3月議会市政方針の会派代表質疑の中で、認知症伴走型支援事業に関する取り組みについて伺ったときの川合市長の答弁でした。メディアでは毎日のように高齢者に関連した交通事故などの問題が取り上げられ報道されているのが現状です。

質問主旨

介護サービスの提供中に発生した事故のうち、利用者の死亡により重大事故であると市が判断したものが令和5年度中にありました。今回質問いたしましたのは、市が初めて死亡による重大事故であると判定した事案でありました。今後見込まれます認知症の増加に伴い、介護サービスの提供にあたって、利用者の命に関わるような事故の危険性の高まりが懸念されることとあります。

また、施設職員不足の労働問題の今後の対応を含め、3つの視点から質問をいたしました。

I. 現状把握と今後の動向

①本市における介護保険の事業所及び施設について、居宅サービスと施設サービス、地域密着型サービスの別に、直近の事業所及び施設の数、そして利用者数及び介護給付費の状況を伺う。

②認知症の高齢者に特化した介護サービスの事業所の利用者数及び介護給付費の状況について伺う。

③介護保険の事業所施設における過去3年間に発生した介護サービスの提供中の事故の発生状況について伺いたい。

④介護サービスの提供中に発生した事故のうち、件数の多い事故の内容について、主なものを伺いたい。

⑤介護サービスの提供中に発生した事故のうち、利用者の死亡などで重大事故であると市が判断したものがあつるか伺いたい。また重大事故が発生した場合の事業所及び施設の対応並びに市の対応について伺いたい。

II. 事実関係の確認

⑥介護サービスの提供にあたり、介護保険の事業所や施設と行政である本市とのそれぞれの役割分担について及び介護保険の事業所や施設における事故を未然に防ぐための市の取り組みについて伺いたい。

III. 問題提起

⑦安全安心な介護サービスの提供のために介護保険の事業所や施設に対する行政の関与をさらに強化することについて、市の認識を伺いたい。

トピックス

姉妹友好都市宣言から41年!



ドイツ・オッフエンバッハ市のシュヴェンケ市長と市民団が来日しました

令和6年度 川越まつりが開催されました!



城下町の歴史情緒あふれる川越まつりが今年も盛大に行われました!

第17回第九の夕べ in 喜多院が10月6日(日)に開催されました!



喜多院境内に秋の夜のひとときすばらしい歌声と演奏で皆さん楽しみました

[プロフィール・現職]
川越市議会議員 6期
所属会派 初雁自由政令会
文化教育常任委員会
川越市監査委員
川越市医療問題協議会
東洋大学校友会 埼玉県西部支部
県立川越工業高等学校同窓会
川越市立川越第一中学校同窓会
社会福祉法人埼玉育児院
上戸小学校区スポーツ振興連絡協議会
川越市マレットゴルフ連盟
喜多院で第九を歌う会

委員

副会長
監事
理事
監事
理事
顧問
顧問
事務局長

[歴任]

第78代・第84代・第88代 川越市議会
埼玉県市議会議員会
関東市議会議員会
2020東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
川越市議会災害対策支援会議
議会運営委員会
文化教育常任委員会
人口問題と社会現象に関する特別委員会
防災・減災対策特別委員会
川越ポラリスミニバスケットボールクラブ
川越地区ミニバスケットボール連盟
公益社団法人川越青年会議所
川越市立上戸小学校PTA
川越市立鯨井中学校PTA

議長
会長
副会長
委員長
委員長
委員長
委員長
委員長
コーチ
相談役
副理事長
会長

何事にも一生懸命

やす ひろ

討議資料

川越市議会議員

おのざわ康弘

川越市吉田715-16

TEL. 049-232-5789

おのざわ康弘後援会

<https://onozawayasuhiro.com/>



[最終学歴]

東洋大学大学院工学研究科(建築学専攻)博士前期課程修了(修士) 2024年10月現在